

# スマートフォン詐欺検知システムの実証実験

市町・自治体・団体



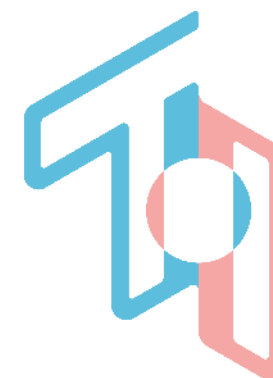
兵庫県  
Hyogo Prefecture



兵庫県警察

県民生活部特殊詐欺等対策課  
県警本部生活安全企画課特殊詐欺対策係

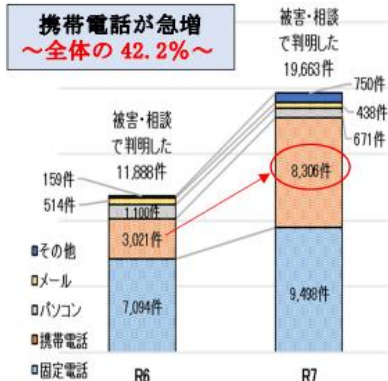
課題解決事業者



Tol Nexus

株式会社Tol Nexus

## 取り組んだ課題



詐欺手口は固定電話からスマートフォンへ移行しており、早急な対策が求められている。しかし、スマートフォン向けの防犯対策が十分に整備されていない。

## 解決してない理由は？



スマートフォンに着信する詐欺電話を自動的に検知する仕組みが未整備である。その結果、利用者の注意力に依存した対策にとどまり、手口の高度化に十分対応できていない。

## 求める解決策

AIを活用した、通話内容から詐欺を判別するためのスマートフォン向けの検知システムの開発



ToI Nexus

## 実証概要

スマートフォン向け詐欺検知システムの試作機を開発し、その試作機を用いて、体験会による実証を実施。

## 目的

- ・詐欺と疑われる通話を検知できるかを検証すること
- ・詐欺検知アルゴリズムの精度テストの実施

## ターゲット

- ・講習会やキャンペーンに参加する全ての世代

## 事業者のアセット

- ・実証に用いるAndroid端末の提供
- ・詐欺検知システムの提供および運用

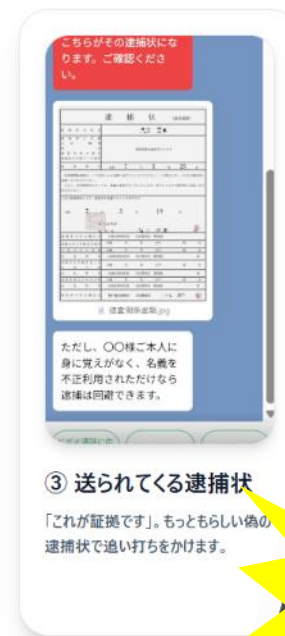
## 県・県警のアセット

- ・実際の詐欺被害のサンプルデータ(一部加工)
- ・防犯講習会等を通じたシステム利用者のあっせん



## 実証①

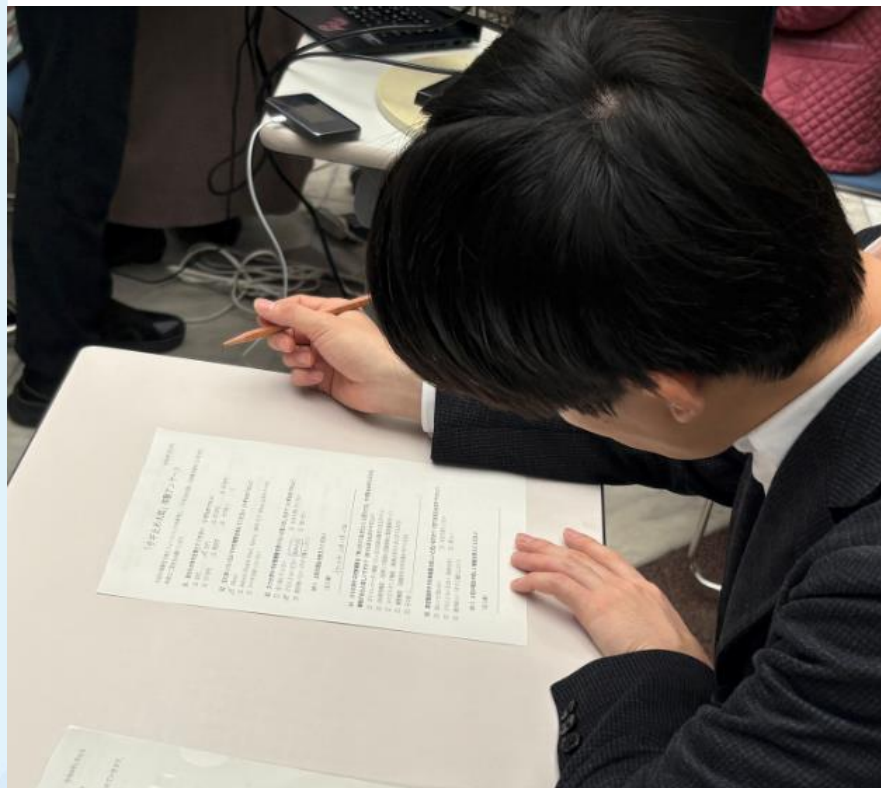
## 講習会・キャンペーンを活用したシステム作動性の検証



講習会やキャンペーン等で実際にシステムを作動させ、アプリ上に組み込んだニセ警察官を名乗る詐欺シナリオに対して、**詐欺検知システムが適切に検知し、被害の未然防止に役立つか**を検証。

## 実証②

## デバイスの使用感や必要性などのデータ収集

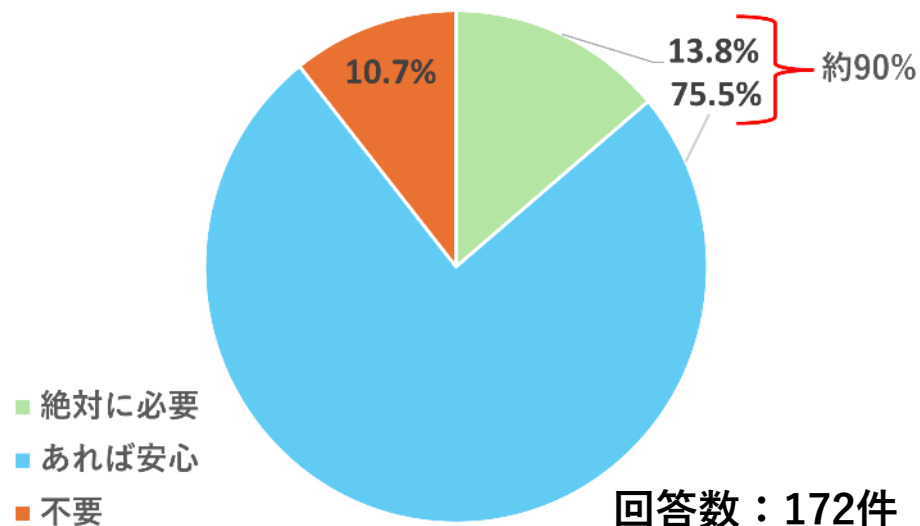


合計13回の講習会・キャンペーンを実施し、デバイスの使用感や必要性、購入方法など、多岐にわたる検証項目について情報を収集。

定量  
結果

実施回数:13回(目標5回)  
機器の必要性90%(目標80%)

サギ止め太郎が必要か



実施回数と機器の必要性の双方で目標を達成し、多くの体験者の意見からシステム改善に役立つ材料も得られた。

定性  
結果

システム運用を経て、  
検知システムの作動確認が完了

その電話、  
AI警察官か  
も!?

画面の向こうで警察手帳を見せる男。  
実はこれ、すべて最新技術で作られた「ニセモノ」です。  
最新の詐欺手口を、安全な環境で体験してみませんか？



アプリ上で、現在急増しているニセ警察詐欺を体験し、検知システムが実際に詐欺を検知できることを確認した。

定量  
結果

AI判定精度90.2% (目標90%以上)  
誤検知率3.5% (目標5%以下)

定性  
結果

メディア報道を通じて、検知システム  
への社会的注目と期待が高まった。

	AIが「詐欺」と判定	AIが「普通」と判定
実際は詐欺通話	55件 正しく検知できた	6件 見逃してしまった (検知漏れ)
実際は普通の通話	2件 誤って疑ってしまった (誤警報)	38件 正しくスルーできた



ラジオ関西  
AM558 FM91.1

サンテレビ「ひょうご発信！」(令和8年2月15日放送)、ラジオ関西(令和8年3月31日放送予定)など複数のメディアで紹介され、検知システムの有用性や重要性が広く周知された。

## 総括

システムの作動確認および参加者アンケートの取得を完了。  
これらにより、有益な情報を収集することができ、今後のシステム  
改良に資する成果が得られた。



## 期待される効果

スマートフォンにかかってくる詐欺電話をAIが検知し、被害に遭う前に警告音で知らせてくれるため、詐欺を未然に防ぐことができる。



## 改善点

デバイスがやや大きいとの指摘が多く、より小型化を求める声が寄せられた。そのため、今後は小型化を含めたシステム改善が必要。

## 実証継続

## 今年度の結果

AI のチカラで電話の詐欺を検知  
サギ止め太郎

- ・ AI検知システムが詐欺電話を検知し、未然防止に有効であることを実証した。
- ・ スマートフォン向け詐欺対策体験会のコンテンツを確立した。

次のアクション  
(2026年度)

- ・ 最新の詐欺手口に対応した体験コンテンツの作成。
- ・ 体験会やイベントを継続的に実施し、検知システムの改良に向けた情報を収集する。

## それ以降



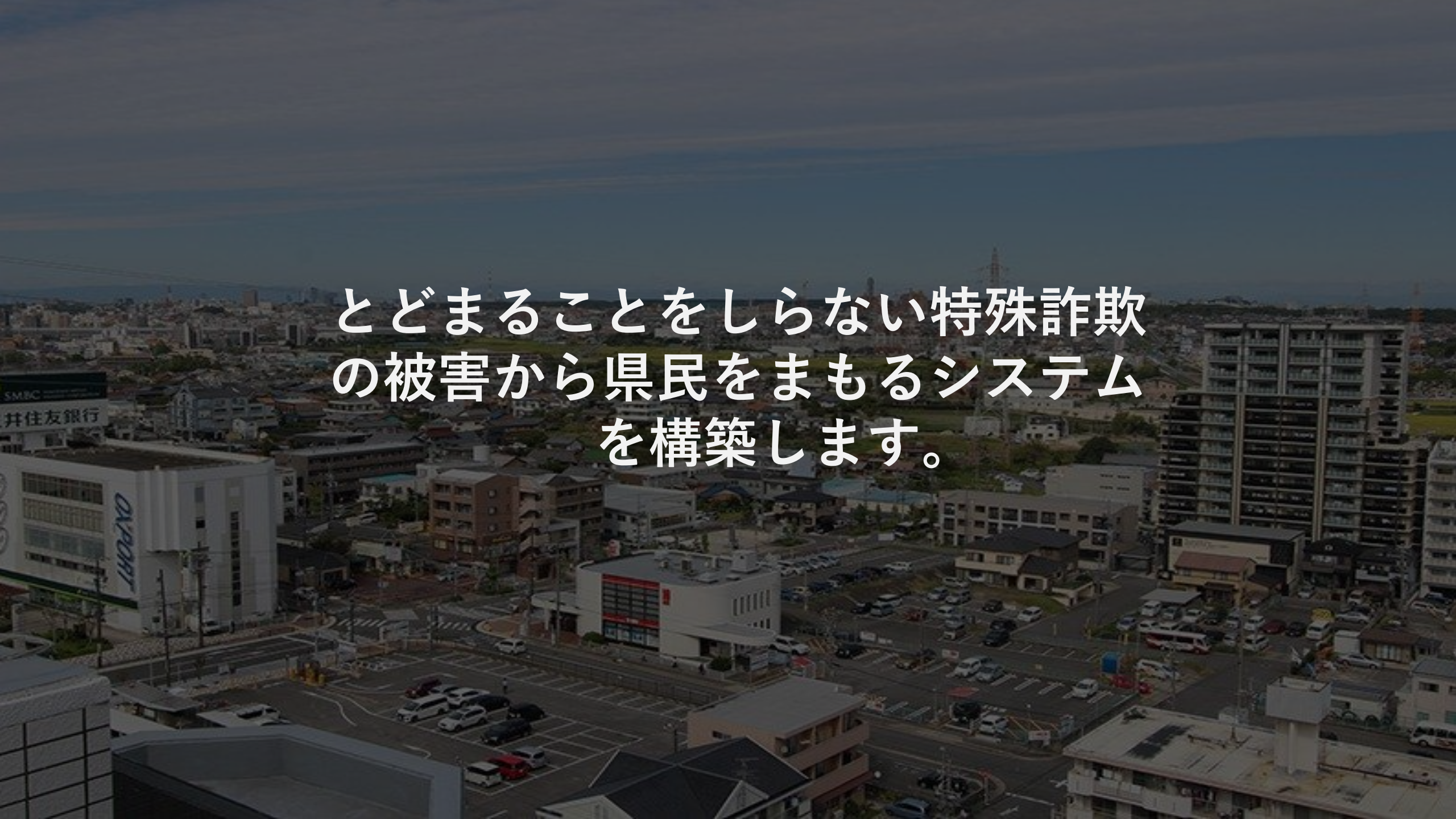
- ・ 県民への普及を進め、詐欺電話の被害防止に継続的に寄与する仕組みを構築する。
- ・ 将来的な一般向けサービス化や事業化の可能性についても検討を進める。

手口が日々高度化する中で、会話の内容からの検知アルゴリズムが必須になる



こんな人と  
話したい

- ・ 防犯・詐欺啓発活動を市町内でやりたいと検討されている方々
- ・ 「サギ止め太郎」を使ってみたい方々・自治体

An aerial photograph of a city, likely in Japan, showing a mix of residential and commercial buildings. The text is overlaid in the center of the image. The text reads: "とどまることをしらない特殊詐欺の被害から県民をまもるシステムを構築します。" (We will construct a system to protect citizens from the damage of special fraud that does not stop.)

とどまることをしらない特殊詐欺  
の被害から県民をまもるシステム  
を構築します。